

「地域防災力向上支援プログラム」第1回県北地区研修会

と き：平成26年9月9日（火）

と ころ：福島県青少年会館

今後の災害に備え、地域の防災拠点である公民館等社会教育施設における防災体制の整備・充実を図るため、市町村社会教育関係職員、社会教育団体関係者、地域防災に関心のある町内会・婦人会関係者等を対象に第1回県北地区研修会を実施いたしました。

1 講 義



伊藤先生の講義



防災ゲーム「クロスロード」

「地域における自主防災力の重要性」

神戸学院大学 現代社会学部社会防災学科

教授 伊藤亜都子 氏

前半は、「地域における自主防災力の重要性」について、阪神・淡路大震災や東日本大震災の具体的事例に即してお話をいただきました。そして、地域防災の6つのポイントとして、「① 防災の基本は自主防災！、② 災害とは、普段できることができなくなる状態！、③ 日頃の鍛え方が大事！、④ 災害に立ち向かうには、「想像力」と「創造力」が不可欠！、⑤ 災害要援護者対応は、災害時の最重要課題の一つ！、⑥ 日常の行事や取組に防災の視点を取り入れる（防災に強い地域社会＝平常時にも強い地域社会）」を上げて、地域防災に取り組むことの大切さを説明していただきました。

後半は、防災ゲーム「クロスロード」を行い、災害が起こる前の備え、また起こってからの対応について自らの問題としてとらえ、考えるグループ演習を行いました。

2 演 習



加藤先生（左）の講義



緊急用トイレ作り！

「災害時のトイレ事情と緊急用トイレの作り方」

NPO法人日本トイレ研究所

代表理事 加藤 篤 氏

前半は、「災害時のトイレ事情」について具体的映像やグラフなどに即してお話をいただきました。受講者は、避難所を開設したときにいかにトイレ事情が深刻な問題かを実感することができました。

後半は、緊急用トイレの作り方を学び、新聞紙とごみ袋で実際に作りました。

参加者の感想

- ・ 当たり前なことなのに、つい後回しにしてしまうトイレ！生命にかかわる大事なもの。もっときちんと考えなければと思った。
- ・ 災害時に災害用トイレのことは、考えたことがなかった。しかし、大変大切なことであるとわかった。実際に緊急用トイレが作ることができてよかった。今後に生かしたい。